

第 8 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017 年 5 月 13 日（土）～14 日（日）

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JR ホテルクレメント高松

プレコングレスワークショップ 11	
企画名	これで使える！はじめての円皮鍼
日時	2017 年 5 月 12 日（金） 15:00～16:30
会場	第 3 会場（サンポートホール高松 ホール棟 5F 54 会議室）
企画責任者	木村 朗子（ともともクリニック）
定員	30 名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】 東洋医学治療法のひとつである鍼灸治療に触れる 円皮針治療が効果のある疾患の診察法と治療法を習得する</p> <p>【概要】 円皮針(えんぴしん)は、鍼治療の形態の一つで、細く短い(長さ:0～1.2mm)鍼を、皮膚に刺入し、絆創膏などで固定して、一日から数日留置する鍼治療の方法のひとつです。固定している間もほとんど違和感なく過ごすことができます。また、使い方は非常に簡単で、どなたでもその場ですぐ覚えることができます。</p> <p>厚生労働省が 3 年ごとに行う国民生活基礎調査では腰痛や手足の関節の痛み、肩こりなど整形外科に関連した愁訴が毎回上位を占めています。高齢化が進む中でこの傾向は今後も続くと思われます。また、日常診療では高齢者以外でも様々な整形外科的愁訴に対応せざるを得ない場面が多々あります。その時に簡易にできるのが円皮針治療です。</p> <p>以下、プライマリ・ケアの現場で円皮針治療が適応する疾患範囲を列举してみましよう。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 関節痛や関節周囲の痛み、また NSAID に反応しない筋肉痛など・ 肩こり、腰痛、末梢神経障害など・ 月経痛、乗り物酔い・抗がん剤副作用・妊娠初期などの嘔気・食欲不振など・ 不眠、不安症状など・ 医療者自身の体調管理 <p>円皮針治療を奏効させる為にはちょっとした技（コツ）があります。それは、圧痛点の探り方、関節裂隙と関節周囲組織の見分け方、経穴（ツボ）のとらえ方などがポイントです。本 W.S.はこれらの技能習得ができるように実習します。関節及び関節周囲の触診技術は膠原病や整形外科疾患の疾患鑑別技能に繋がりますので、適確な臨床推論の手助けにもなります。当該疾患の円皮針治療応用と共に、コモンディーズの診かたをさらに深化させるでしょう。また、代表的な経穴も覚えて、引き出しの多い医療者になってください。ご希望の方には、円皮鍼鍼だけではなく通常の鍼灸治療についても体験実習を行うことができます。</p>	